

構造物の耐風性に関する第4回シンポジウムのお知らせならびにプログラム

共 催：日本学術会議構造研究連絡委員会耐風構造分科
会・電気学会・土木学会（幹事学協会）・日本
気象学会・日本建築学会・日本鋼構造協会

期 日：昭和51年12月2日（木）～3日（金）

会 場：気象庁講堂（東京都千代田区大手町 1-3-4）
電話 03-212-8341, 内線469, 地下鉄竹橋
（東西線）駅下車

参加費：3,000円（論文集代および送料を含む）

定 員：300名

参加申込要領：

- (1) 申込方法：B5判大の用紙に「構造物の耐風性に関する第4回シンポジウム参加申込」と明記し，①参加者氏名，②勤務先および職名，③連絡先住所，④所属学協会名を必ず記載し，参加費を添えて現金書留便で下記宛お申込み下さい。
- (2) 参加申込期限：昭和51年11月15日（月）
- (3) 申 込 先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目土木学会内「構造物の耐風性に関する第4回シンポジウム」係
（電話 03-355-3441）

(4) その他：

- a. シンポジウム論文集は11月上旬に刊行の予定。参加申込者へは論文集を事前にご送付致します。
- b. 原則として参加申込みの取消しがありましても参加費の払い戻しは致しません。
- c. 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切ります。

懇親会

下記により懇親会を開催致しますから参加ご希望の方はシンポジウム参加申込みと同時に申し込み下さい。なお、会費は当日会場受付にてお支払い下さい。

- (1) 日 時：12月2日（木）18：00時～
- (2) 会 場：気象庁内
- (3) 会 費：2,000円
- (4) 定 員：50名

プログラム

第1日：12月2日（木）

9：30～9：40 開会の辞 構造物の耐風性に関する第4回シンポジウム運営委員会委員長
大久保忠良

司会：竹内清秀

- 9：40～10：10 招待講演-1. 中部日本の局地風について 気象庁 河村 武
- 10：10～10：15 休憩
- 10：15～11：15 1. 構造物による微気象の変化と冷害
長大橋設計センター 東原紘道
2. 強風時における最大風速の時間空間平均について 京都大学 石崎潑雄
3. 海峡における風の特性の実験的研究 気象庁 ○藤谷徳之助・花房龍男・相馬清二
- 11：15～11：25 休憩
- 司会：根本 茂
- 11：25～12：25 4. 風速の垂直分布における粗度パラメータに対する3次元的粗度密度の適応について 日本大学 亀井 勇・○丸田栄蔵
5. 線状構造物の動的風応答に及ぼす変動風速の空間構造に関する一考察 九州大学 ○前田潤滋；長崎大学 花井正実；九州大学 牧野 稔
6. 7513台風による八丈島の被害調査結果 建設省 成田信之・○横山功一
昼食・休憩
- 12：25～13：25 司会：吉田正昭
- 13：25～13：55 招待講演-2. ビル風の動向・分析・対策 日本大学 亀井 勇
- 13：55～14：00 休憩
- 14：00～15：40 7. 自然風中で低層建物に加わる風圧力と変位応答について 京都大学 石崎潑雄・○吉川祐三
8. 超高層建築物に作用する風荷重—大阪大林ビルでの実測— 大林組 ○川口彰久・武田寺一・竹本 靖・伊藤雅保・本間義教
9. 横須賀電気通信研究所研究棟における風圧実測 東京工業大学 藤本盛久；神奈川大学 大熊武司；東京工業大学 ○天野輝久；日本電信電話公社 松下一郎・赤木久真
10. 東京タワーの風力係数に関する検

- 討 日本大学 亀井 勇・○卯月英夫
 11. 強風による弾塑性高層骨組の動的崩壊の解析 京都大学 石崎潑雄・中村恒善; 京都工芸繊維大学・石田修三; 川鉄建材 奥平正義
- 15:40~15:50 休憩
 司会: 大熊武司
- 15:50~16:20 招待講演-3. 諸外国における架空送電線の耐風設計について 電力中央研究所 坂本雄吉
- 16:20~16:25 休憩
- 16:25~17:45 12. 角柱模型より発生する周期的な渦性状について 日本大学 亀井 勇・丸田栄蔵・○上田 宏
 13. 角柱のまわりの流れ 九州大学 溝田武人
 14. 角柱表面の風圧変動とその周囲の風速変動とその相関について 京都大学 石崎潑雄・○河井宏允
 15. 角柱側面に働く風圧力および角柱の共振について 金沢工業大学 森武雄
- 第2日: 12月3日(金)
 司会: 坂本雄吉
- 9:30~10:00 招待講演-4. 航空機の飛行フラッター試験について 科学技術庁 市川輝雄
- 10:00~10:05 休憩
- 10:05~11:25 16. 振動する円柱まわりの流れ(実験と数値計算) 九州大学 岡島 厚
 17. 箱型構造断面の渦励振動現象に関する実験的研究 京都大学 白石成人・松本 勝・○高口秀和・斎藤恒範・武内隆文
 18. 建物平面形状変化に対する動的応答及び Strouhal 数の実験的研究(一様流中) 日本大学 亀井 勇・丸田栄蔵・○林 清貴
 19. 四角柱の振動性状と後流の風速変動について 日本大学 亀井 勇・丸田栄蔵・○望月 強
- 11:25~12:25 昼食・休憩
 司会: 岡内 功
- 12:25~12:55 招待講演-5. 耐風性からみた吊形式橋梁の断面形状 東京大学 伊藤 学
- 12:55~13:00 休憩
- 13:00~14:20 20. 層流および乱流における矩形断面柱のギャロッピング 九州大学 中村泰治・○友成義正
 21. H型断面のフラッター特性に関する実験的研究 京都大学 白石成人・松本 勝・○小島治久・小林修二
 22. 箱型模型の空力弾性特性に関する風洞実験 清水建設 大築志夫・藤井邦雄; 東京大学 鷺津久一郎・○大屋昭男
 23. 吊橋断面の振りフラッターについて九州大学 ○吉村 健・中村泰治
- 14:20~14:30 休憩
 司会: 嶋田 潔
- 14:30~15:50 24. 乱流中の正方形柱の挙動に関する二, 三の考察 東京大学 宮田利雄・○宮島正男
 25. 自然風のガスト特性を考慮した場合の構造物の最大応答評価に関する一考察 京都大学 白石成人・松本 勝・○新川隆伸・金川昌義
 26. 振動機構を異にする2種類の模型を用いた高層建物の風洞実験例 東京大学 加藤 勉・岡田 恒; 日本板硝子 都甲英俊・川端三朗; 竹中工務店 ○岩佐義輝・畑中公樹・神田 順
 27. 超高鉄塔の耐風に関する研究 東京電力 古田寿作・児玉琢也・○吉田一; 鹿島建設 足立憲彦・吉田正邦・中村 修
- 15:50~16:00 休憩
 司会: 白石成人
- 16:00~17:20 28. キャットウォークの耐風性に関する研究 東京大学 伊藤 学・宮田利雄; 新日本製鉄 杉田卓男・○北条哲男
 29. 自然風下での構造物の動的応答挙動について 中央大学 岡内 功; 本州四国連絡橋公団 榎波義幸・○秋山晴樹
 30. 小鳴門橋の耐風応答について 徳

(527ページにつづく)

- ・鶴田 治雄・前田 裕行（横浜市・公害研）・鈴木英世（川崎市・公害研）・遠藤辰雄・長利富勝（北大・理）：相模湾上の大気汚染物質の輸送過程に関する観測
163. 内藤恵吉・高橋克己・田端 功・横田良夫（気研・衛星）：ライダーによる大気拡散解析（続）
164. 岡本真一・塩沢清茂（早大・理工）：拡散モデルによる大気汚染シミュレーション（第7報）
165. 広尾 純・塩沢清茂（早大・理工）：拡散モデルによる大気汚染シミュレーション（第8報）—主軸が曲率をもつブルーム・モデル—
166. 大西外史（防衛大）：定常状態の拡散モデル
167. 岡本真一・谷畑淳司・塩沢清茂（早大・理工）：拡散実験データの解析（第1報）—濃度の鉛直分布について—
168. 島貫 陸（東京学芸大）・板宮憲一（日科技研）・山崎 博（東京都公害局）：相互相関によるオキシダント濃度の地域構造解析
- 第2会場 熱帯気象・積雲** 座長 和田美鈴
261. 丸山健人・常岡好枝（気研・学報）：アジア南西モンスーン時の圏界面
262. 丸山健人・常岡好枝・飯田陸治郎（気研・予報）：アジア南西モンスーン時におけるじょう乱の解析（第4報）
263. 伊藤久徳（京大・理）：積雲対流との弱い相互作用を持つ赤道波
264. 松野一郎・新野 宏（東大・理）：乱流ブルームに及ぼす回転の効果
265. 和田美鈴（気研・台風）：パラメタライズした積雲対流によって生ずる大規模擾乱
266. 中沢哲夫・岸保勘三郎（東大・理）：積雲対流の熱放出によって発達する擾乱の数値実験
267. 吉崎正憲（東大・海洋研）：雲底が高い積雲の数値実験（1）
268. 吉崎正憲（東大・海洋研）：雲底が高い積雲の数値実験（2）
- 第3会場 測器・データ処理** 座長 青柳二郎
349. 藤原美幸・柳沢善次・柳瀬利子・神林慶子（気研・台風）青柳二郎・吉留英二（気研・衛星）：降水塊のマイクロウェーブ通信に及ぼす減衰特性（中間報告）
350. 落合弘明（鳥羽商船高専）・土屋 清（宇宙開発事業団）：LANDSAT-MSS データによるデジタル解析について
351. 吉留英二・青柳二郎（気研・衛星）：オメガ高層風観測装置の改良（I）
352. 中村邦雄・山香英三（松下技研）・青木忠生（東北大・理）・関原 疆・鈴木彌幸（高層気象台）：地上設置形気温垂直分布測定装置について（II）
353. 渡辺清光（日本気象協会）：観測の自動化と周辺機器の1例について（微風構造の研究V）
354. 菊池武徳（水戸地台）：測器の変更などに伴う風速の変化と最大瞬間風速の代表性について
355. 西宮 昌・小林博和（電力中研）：煙突利用による風向風速の測定誤差
356. 高橋延男（気研・衛星）：吹込み型小型垂直風洞の試作
357. 木村忠志（防災セ・雪害研）・福島 茂・佐藤家郷（明星電気）：R-2 型積雪の深さ計

(p. 529 のつづき)

島大学 ○宇都宮英彦・橋本孝夫・安田幸登

31. 橋梁基本断面のガスト不規則振動について 京都大学 白石成人・松本勝・○岡南博夫・丸山 俊・森野純孝

17:20~17:30 閉会の辞